

家畜審査競技会 合同学習会に参加

7月16日にあきた総合家畜市場で開催される家畜審査競技会を前に、能代西高校の畜産を担当している3年生6名は秋田県畜産試験場で開かれた合同学習会に参加しました。この学習会は、県内で牛が飼育されている高校は3校しかなく、競技会へ向けて牛を見る目を養い、競技力の向上を図ることを目的としています。

→ 担当者の説明を熱心に聞いています



学習会では、畜産試験場の担当者から審査する際のポイントや各部位の良い点、悪い点などが説明され、実際に生徒達が牛を触って特徴を確認し、理解を深めていました。

競技会は「肉牛の部」と「乳牛の部」の2つの部門がありそれぞれ各3名が出場します。学習会に参加した荒川大さんは「一昨年の大会では西高から最優秀賞が選ばれている。今回学んだことをしっかりと復習して大会に臨んで、上位入賞を目指します」と力強く意気込みを語ってくれました。



農業情報処理競技会

農業情報処理競技会とは、農業情報処理に関する基礎的な知識を問うとともに、パソコンを使用した表計算並びに考察文書処理を行う競技会です。1時間の制限時間で、表計算処理やグラフ作成を行い、その作成した表やグラフを考察し文書を作成します。

6月22日に能代西高校で開催された競技会には同校の他に、大曲農業高校、金足農業高校、秋田北鷹高校、増田高校、西目高校の6校の生徒22名が参加し、日ごろの学習の成果を発揮するため、与えられた課題に真剣に取り組んでいました。

今回の競技会では能代西高校からの上位入賞者は惜しくもいませんでしたが、来年の競技会では入賞できるよう、生徒達は農業クラブ活動に励んでいきます。

